

コード	504040301
記入日	H22.6.11

課コード	123
課名	世界遺産推進室
課長名	濱田宇喜雄
担当者	竹内睦生

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	世界遺産登録事業
----------	----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	2
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と創造	項コード	1
基本事業コード	50404	基本事業名称	文化財の整備と活用	目コード	10
事務事業コード	5040403	事務事業名称	まちづくり景観資産登録制度事業費	細目コード	1080
関連計画			法令・条例規則等		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	世界遺産暫定一覧表	(対象指標1)	1433件				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
平成23年度本登録を目標に、長崎県と関係5市2町が共同で推進事務を行う。推薦書の作成・個別保存管理計画の策定・景観計画の制定・重要文化的景観の保存調査・保存計画の策定などがその事務にあたる。	文化的景観保存調査報告書(基礎資料編)の作成及び景観計画を策定した。 県市町調整会議6回、市町連絡会議3回、文化的景観保存計画策定委員会3回、景観計画策定委員会1回、作業部会5回実施した。	① 会議開催回数	44回	90%	会議開催回数÷計画した会議開催回数	平成23年度	
		① 会議開催回数	18回	150%		平成21年度	
		(達成率分析)	県や関係5市2町の取組状況を考慮しながら、研修会等を開催した。				
		②	*****	*****	*****	*****	*****
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
世界遺産登録申請に向けて、各種調査及び会議を行い計画書等の策定を行っていく。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		① 登録構成資産数	0件	0%	登録構成資産数÷計画した資産数	平成23年度	
		①	*****	*****		*****	平成21年度
		(達成率分析)	事業が途中であるため、平成23年度に事後評価で達成率を出すものとする。				
②	*****	*****	*****	*****	*****		
(達成率分析)							

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	49	44	26	12	18	12	7			
	②										
成果指標	① 件	4						4			
	②										
総事業費C(A+B)	千円	174,549	98,085	53,349	53,000	44,736	38,000	30,200			
直接事業費A	千円	62,549	42,085	25,349	25,000	16,736	10,000	2,200			
人件費B	千円	112,000	56,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000			
内訳	従事職員数	人	16.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	9,515	6,430	2,850	3,580	3,580	3,085			
	県補助金	千円	14,035	13,301	7,869	1,432	5,432	4,734			
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	150,999	78,354	42,630	47,988	35,724	30,181	30,200			

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産として後世に残すため是非必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町内文化財保護の中心となるので新町の基本的な柱として必ず行わなければならない。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町指定文化財の保護活動でもあり、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	世界遺産登録に向けて引き続き検討を重ねなければならない。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	現在内容の検討を行っている状況である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産として文化財を後世にしっかり残せない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	文化財保護の柱として実施しているため類似事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小限の直接事業費を計上しているため、削減できない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	限られた人件費の中で効率を上げるよう努力を図っているためこれ以上の削減はできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	現在計画中であるため受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	現在内容の検討を行っている状況である。
		効率性	現在内容の検討を行っている状況である。
	課題に向けた改善策	県全体の世界遺産登録へ向けた事業の進捗状況を勧奨すると、事業計画年の見直しが必要となる可能性がある。	
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
有効性		町が観光振興・文化財保護を図る上での重要施策と位置づけられる事業である。必要な見直しは関係機関と十分協議すること。	
効率性		経費の執行については適正に行うこと。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。